

薬品化学研究室 新型コロナウイルス対応方針

構造物

1. 学生居室と教員室の換気システムは**常時ON**とする。停電するとスイッチが自動的に切れてしまうので、停電復旧時には再度ONにする事。
2. 研究室「東側の窓（3箇所）（雨や強風時以外）」と「廊下側2箇所の扉」は**基本的に開放**する。
3. 学生居室と教員室の「中庭側の窓」と「廊下側の扉」は**基本的に開放**する。
4. 学生居室と教員室の「中庭側の窓」の手前のサーキュレーターは在室時は「中」以上の強度で**常時ON**にする。原則として**5分以内で室内空気が入れ替わる**ように風量を調節する。
5. 学生居室と教員室に設置してあるプラズマクラスター空気清浄機と加湿器も**常時ON**とする。停電するとスイッチが自動的に切れてしまうので、停電復旧時には再度ONにする事。
6. **ドラフトは逆流防止**のため、サッシ開放を最小限にとどめる。
7. 部屋の扉、電気スイッチ、エアコン・換気システムスイッチ、パソコンキーボード・マウス、研究機器のスイッチ類ドラフトの取手、試薬棚のノブ、電子レンジなどは使用前後にアルコールか次亜塩素酸ソーダ液で消毒する（自分から率先して行動）。
8. 使用後は自分のデスク周りも必ず消毒する。

研究室使用基準

1. 研究室や居室の人の密度を減少する方向で対応する。消毒と研究室掃除は、できうる限りの範囲で頻繁に実施する。
2. 使用時は一人にならないように**最低2名の維持**にも心がける。
3. 研究（実験室を使用）並びにデータ整理（学生居室を使用）・自宅での勉強やデータ処理の2パターンに分けて、金曜日15時までに、翌週の出勤（大学 or 自宅での勉強）を**スケジュール管理ソフト調整さんに記入**する。
4. 学生は**週7日のうち2日**登校することができる。ただし、登校した学生の健康状態を確認する目的もあるので、**2日の登校日が連続しない**ように、分散させたスケジュールとする。
5. スケジュールは調整・変更される可能性があるため、必ず**調整さん**を確認すること。
6. 佐治木、澤間、山田、新川、森重、高倉(D4)、朴(D3)、阪(D2)、安川(客員共同研究員)の中で金曜日に研究室に出ている者で相談して、**密集しないように・偏らないように調整・管理**し、調整さんの修正をする（修正後全学生に周知する）。
7. 調整に当たり、研究室に登校する学生が**極力少数**となるようにする、自宅勉強やデータ処理とのメリハリを付けると同時に、できる限り**短時間で切り上げる**。データ処理は極力自宅や下宿とする。非常時であるので、実験ノートやデータの持ち帰りも認める（機密事項が含まれることを自覚して、それらの管理は責任を持って徹底すること）。
8. 土・日・祝日を含めて、研究室や学生居室の週7日をフルに使った**分散使用ローテーション**で運営する（平日休みも当然発生する）。
9. 現在、当研究室所属の学生は、公共交通機関を使用すること無く登校できるが、様々な事情で公共交通機関の使用が必要となった場合には申し出て、日程変更する（原則として通学には公共交通機関は使用しない）。

10. 大学・自宅（下宿）での勉強の2パターンに分けて、当日の研究・勉強予定を9:00頃までに澤間先生か山田先生にメールまたは Slack で報告する（簡単に分かりやすく記載する）。また、当日の研究・勉強の成果を18:00頃までに澤間先生か山田先生にメールで報告する。
11. 澤間先生と山田先生は 12時までに研究・勉強予定の連絡、20時までに当日の研究・勉強の成果報告が無い学生には、電話等で直接コンタクトして確認すると共に、それでも連絡がつかなければ速やかに佐治木まで報告し、有事の可能性を考慮して迅速に対応する。
12. 「リサーチセミナー」は当面中止とする。
13. 「文献セミナー」は Zoom による会議体制で運営する（大学院講義室、学生居室、下宿・自宅等からの参加が可能。発表者は大学院講義室または学生居室で「当研究室所有の書画カメラ」等を使って示説・発表する。
14. 「文献セミナー」発表者は15分で発表、質疑応答15分の基本線を進め、1回当たり2名が発表する。週2回の予定。スケジュールや詳細はセミナー係より連絡。
15. 「医薬品のプロセス化学」に関する研究室講義を実施する。1回当たり45分で10~12回を予定、週2回のペースで開講する。スケジュールや詳細はセミナー係より連絡。

健康管理

1. 毎朝体温を測定して 37.3℃以上の場合は自宅待機とする（状況を研究室職員全員宛にメールで連絡する）。微熱や体調不良で連続して休む場合は職員全員宛のメールで毎朝状況を連絡すること。
2. 毎朝体温を測定して 9時までに Google スプレッドシートで連絡する（男女別管理）。
3. 体調が悪く、買い出しなどのヘルプが必要であれば、遠慮なく申し出る。
4. 大学在室時はマスクの着用が必要条件。手洗い後のタオルの共用はしない。
5. アルコールによる手指の消毒だけでなく、こまめに手洗いやうがいを行う（こまめに飲料を摂取して口の中を除菌・保湿する）。
6. 自宅での勉強やデータ処理・自宅待機となった学生も、不要不急の外出を避ける。
7. 就職活動等で面接試験参加が必須となった学生は、面接試験から帰宅した翌日から5日間は完全自宅待機とする。体温の変化を観察して問題が無ければ、通常生活に戻る。
8. 集団での飲食を避ける！居酒屋や下宿での飲み会はもってのほか！絶対にしない！